令 和　8 年 度

契 第　491 号

(ゼロ債務) (補) 青年の家　講堂空調機設置 (空調) 工事設計書

大垣市 見取町 地内

大　垣　市

50

工事名称
（ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事

仕　様　書

Ⅰ 工事概要

講堂用空調機(ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式、室内機天吊形)を設置する。

1．工事場所　大垣市　見取町　地内

2．建物概要

建物名称	構造及び階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令の適用	耐震区分	備考
本館棟	RC造２階建	1,761.22	別表第１(16)項イ	Ⅱ・Ａ・乙	
	一部S造２階建				

3．工事種目（●印の付いたものが対象）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 本館棟	倉庫棟				屋外
空気調和設備	●					●
換気設備						
排煙設備						
自動制御設備	●					●
衛生器具設備						
給水設備						
排水設備						
給湯設備						
消火設備						
厨房設備						
ガス設備						●
浄化槽設備						
さく井設備						
特殊設備						
撤去工事						

4．指定部分　●無　　○有（　　）

5．設備概要

●印を付けたものは、本工事(新営)あるいは既設設備(改修)の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。

方式及び種別	設備概要
空調方式	○空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ個別ﾊﾟｯｹｰｼﾞ方式　○空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾏﾙﾁﾊﾟｯｹｰｼﾞ方式 ○空気熱源ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ方式　○吸収式　○水冷式　○空冷式
主要熱源機器	○ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機　○冷温水機　○圧縮式冷凍機
自動制御方式	○個別式　○中央監視制御（ ○集中管理ﾘﾓｺﾝ　○PC ）
給水方式	○水道直結方式　○高置水槽方式　○受水槽方式　○増圧給水直結方式
排水方式	雨水排水　（ ○合流式　○単独式 ） 建物内汚水、雑排水　（ ○合流式　○分流式 ） ﾎﾟﾝﾌﾟ排水　（ ○汚物　○雑排水　○湧水 ） 建物外放流先　汚水（ ○下水管放流　○貯留槽切替　○浄化槽 ） 雑排水（ ○下水管放流　○貯留槽切替　○浄化槽 ）
消火設備の種別	○屋内消火栓設備　○ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備　○泡消火設備　○不活性ｶﾞｽ消火設備 ○連結散水設備　○連結送水管設備
ガスの種類	●都市ガス（種別：13A、　発熱量：45MJ/m³(N),供給事業者名　大垣ガス（株））
	○液化石油ガス（ ○ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ　○ﾌﾞﾀﾝｶﾞｽ ）

Ⅱ 工事仕様

1．適用

1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営庁営繕部監修の標準仕様書等によるものとし、●印のついたものを適用する。また、★印のついたものは着工時、受注者事務所に整備するものとし、工事完成時には成果品の一部として納品すること。
- ●☆公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準仕様書」という。)
- ●☆公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ●☆公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準図」という。)
- ●☆工事写真撮影ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ・機械設備工事編(最新版)

2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

3）標準仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行するものとする。

4）全ての設計図書は、相互に補完する。ただし、設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、次の（1）から（4）までの順番のとおりとし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
（1）質疑回答書（（2）から（4）までに対するもの）
（2）特記仕様
（3）図面
（4）標準仕様書

2．特記仕様

1）章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

2）南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発表された場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第２６条（臨機の措置）によって処理されるものとする。

章	項目	特記事項
●一般共通事項	● 1. 官公署その他への届出手続き等	届出内容について、あらかじめ監督職員に報告する。 ○給・排水設備の工事完了後の検査手数料 支払い方法（○受注者支払　○発注者支払）
	● 2. 工事実績情報の登録	工事請負金額が税込500万円以上の受注者は、登録内容について、あらかじめ監督職員の確認を受けた後、次に示す期間内に登録機関へ登録申請を行う。ただし、期間には行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日は含まない。 （1）工事受注時　　契約締結後10日以内 （2）登録内容の変更時　　変更契約締結後10日以内 （3）工事完成時　　工事完成後10日以内
	● 3. 関連工事と敷地内同時期工事	施工上密接に関連する工事または敷地内同時期工事がある場合は、発注者の調整に従い、第三者の行う工事の円滑な施工に協力すること。 (1)関連工事（●建築工事　●電気工事　○土木工事） (2)敷地内同時期工事 ・ ・
	○ 4. 文化財の保護	○埋蔵文化財包蔵地（遺跡名：　　）
	● 5. 遠隔臨場の実施	「大垣市建設工事における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき実施するものとする。 適用：● 遠隔臨場の方式：受注者指定方式　【遠隔臨場・Web会議ｼｽﾃﾑの利用期間：　日間】 ○ 受注者希望方式（受注者が希望する場合は実施する）
	○ 6. 電気保安技術者	設置する。冷凍機等の電動機及び制御・操作盤が付帯する機器の取付工事期間において、電気工作物の保安業務を行う。
	● 7. 施工条件	適用：● 条件内容：現場施工の着手日は令和9年4月1日以降とする。
	● 8. 週休二日の対応	週休2日制工事については、「大垣市週休2日制工事要領」に基づき実施すること。 また、工事表示板に「週休2日制工事」である旨を記載すること。 適用：● 週休2日制工事の方式　又は　適用除外の理由：発注者指定型：週単位の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。 ○ 発注者指定型：月単位の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。 ○ 発注者指定型：通期の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。 ○ 適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第1号の規定による。 ○ 適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第2号の規定による。 ○ 適用除外　：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第3号の規定による。 ※週単位と月単位については完全週休2日（土日）を原則とする。 受注者は、「建設現場の週休2日」の普及及び浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行なう場合を除く）
	○ 9. 経年調査と実施	工事引渡後、受注者は自ら企画して発注者及び監督員の立会いを求め、工事全般について瑕疵及び損耗に関する調査を、それぞれ引渡日から起算して（○1年目　○2年目）に行う。調査の結果、工事目的物に瑕疵が認められた場合は、受注者は監督員と協議の上、速やかに工事請負契約に基づいて適切な対応を行う。調査に必要な費用は全て受注者の負担とする。 調査立会い者は、発注者、監督員、受注者とする。
	● 10. 発生材の処理等	(1) 発注者に引渡しを要するもの（○金属類　○　　） (2) 産業廃棄物 ○石綿含有産業廃棄物（○ﾌﾗﾝｼﾞ用ｶﾞｽｹｯﾄ(○配管　○ﾀﾞｸﾄ)　○塗料　○内外装材） 壁面塗料や天井材に石綿が含有している（と見なす）場合は、集塵機付き工具を使用すること。また、穿孔部等は適切に養生を行うこと。 処理方法（ ●構外搬出適切処理　○施設管理者に引渡し） (3) 特別管理産業廃棄物 ○廃石綿等（○配管保温成形用ﾊｰﾄﾞｾﾒﾝﾄ　○壁面塗料　○天井材） 壁面塗料や天井材に石綿が含有している（と見なす）場合は、集塵機付き工具を使用すること。また、穿孔部等は適切に養生を行うこと。 ○ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類等 処理方法（ ○構外搬出適切処理　○施設管理者に引渡し） (4) 特殊な建設副産物 ○ﾌﾛﾝ（回収共） ○臭化ﾘﾁｳﾑ 処理方法（ ○構外搬出適切処理　○施設管理者に引渡し） (5) ○建設発生土（○指定地処分　○場内散き均し） 場所：揖斐郡揖斐川町清水（運搬距離：L=20Km）
	● 11. 環境配慮工事	○本工事は、工事範囲の既設建材にアスベスト含有がないことが明らかであるため、大気汚染防止法に基づく事前調査は、対象外とする。 受注者は、大気汚染防止法・同施行令・同施行規則、労働安全衛生法・同施行令、労働安全規則、石綿障害予防規則及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律・同施行令・同施行規則等を遵守し、万全な安全・衛生体制を確保し、施工すること。 (1) 事前調査 ●書面調査 ○目視調査（建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く） ○分析調査（書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合） ●調査済結果確認（令和8年2月調査） ○石綿含有建材　　【　　】 ○石綿含有みなし建材【　　】 石綿含有みなし建材として積算している建材については、分析調査の結果により石綿の含有が認められない場合は、契約金額の減額対象とする。 (2) 事前調査資格者 調査者は以下のいずれかの資格を有する者とする。 ①特定建築物石綿含有建材調査者 ②一般建築物石綿含有建材調査者 ③令和5年9月までに日本ｱｽﾍﾞｽﾄ調査診断協会に登録された者 ④一戸建て等石綿含有建材調査者（一戸建て住宅や共同住宅の住戸の内部のみ調査可能） ただし、石綿含有建材の種類が多岐に亘るような大規模建築物又は改修等を繰り返しており石綿含有建材の特定が難しい建築物については、特定建築物石綿含有建材調査者又は一定の実地経験を積んだ一般建築物石綿含有建材調査者が事前調査を行うこと。 (3) 事前調査報告 岐阜県知事及び所轄労働基準監督署長へ報告を行うこと。

章	項目	特記事項
		(4) 特定粉じん排出等作業にかかる掲示 本工事が大気汚染防止法に規定する特定工事に該当するか否かについて、297mm×420mm以上の掲示板にて工事表示板と併せて掲示し、特定建築材料に関する事前調査結果等を記載すること。
	○ 12. 機材の検査に伴う試験	試験を指定された機材（○　　）
	○ 13. 技能士	○配管施工　○熱絶縁施工　○冷凍・空気調和機器施工　○建築板金施工
	● 14. 施工の検査に伴う試験	適用：●／対象設備：冷媒配管／試験内容：気密試験／試験圧力：製造者指定／保持時間：24時間 ●／ﾄﾞﾚﾝ配管／通水試験／－／－ ○／冷温水配管／水圧試験／最小0.75MPa／最小30分 ○／冷却水配管／水圧試験／最小0.75MPa／最小30分 ○／給水給湯配管／水圧試験／最小0.75MPa／最小60分 ○／排水配管／満水試験／－／最小30分／満水継手（○有　○無） ○／排水配管／通水試験／－／－ ○／消火配管／水圧試験／現場指示／最小60分／消防検査（○有　○無） ○／消火配管／気密試験／現場指示／最小60分／消防検査（○有　○無） ●／ｶﾞｽ配管／気密試験／現場指示／－／最高使用圧力以上 ●／あと施工ｱﾝｶｰ／引張試験／耐震計算値／－／重量機器据付
	○ 15. 化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定を実施する。 測定時期：○施工前　○施工後 測定化学物質：ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾟﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ、ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾟﾝｾﾞﾝ 測定対象室・測定箇所数：図示
	○ 16. 監督職員事務所の設置	設置する。
	● 17. 足場	外部工事用：○手すり先行足場　○移動式足場　●高所作業車 内部工事用：○移動式室内足場　●可搬式作業台
	○ 18. 根切り工事	深さ1.5m以上の根切り工事を行う場合で、危害防止上支障があるときは、山留め又は法付けを設ける。
	● 19. 総合試運転調整	下記項目の計画書及び測定報告書を提出する。 ○風量調整 ○水量調整 ●（●室内　●室外）空気の（●温度　○湿度）の測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ●（●騒音　○振動）の測定 ○（○飲料水　○雑用水）の水質の測定 ●初期運転状態の記録
	● 20. 電源周波数	●60Hz　○50Hz
	● 21. 耐震措置	耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版による。 (1) 機器の据付及び取付 施設分類：●特定の施設　○一般の施設 機器分類：●重要機器（○熱源機器　●空調機器　○受水槽　○高置水槽　○ｵｲﾙﾀﾝｸ）　○一般機器 設計用標準水平震度 上層階：特定の施設 重要機器 2.0／一般機器 1.5／一般の施設 重要機器 1.5／一般機器 1.0 上層階、屋上及び塔屋：固定の機器 2.0 1.5 1.5 1.0／防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5／水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0 中間階：固定の機器 1.5 1.0 1.0 0.6／防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0／水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 1階及び地下階：固定の機器 1.0 0.6 0.6 0.4／防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6／水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 上層階の定義は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階の定義は、地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。（平屋建は、1階と屋上で構成される中間階はなし。）
	○ 22. 案内板	機器ｼｽﾃﾑ図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板（○ｱｸﾘﾙ樹脂製　○市販ﾊﾟﾈﾙ）を設備機械室に設ける。だたし、案内板の大きさは、約　　m2とする。
	○ 23. 配管	○給水管及び消火管の建築物導入部配管の変位吸収方法は、構造物耐震ｼｽﾃﾑ（積水化学工業㈱同等品以上）を採用する。 ○溶接部の非破壊検査（箇所：　　）
	○ 24. 地中埋設標示	○地中埋設標（箇所：図示による） ○埋設表示ﾃｰﾌﾟ（排水管を除く）
	○ 25. 弁類	図面に特記なき弁の耐圧は、JIS又はJV 10Kとする。
	● 26. 支持金物類	(1) 配管工事に関しては、標準仕様書第2編2.6.1、2.6.3、標準図施工9～16による。 (2) ﾀﾞｸﾄ工事に関しては、標準仕様書第3編2.2.2、2.2.3、2.2.4、標準図施工17による。 (3) 上記振れ止め選定に関して標準図施工18～20による。 (4) 屋外露出、多湿箇所及び暗渠内の吊り及び支持金物、形鋼振れ止め類はすべてｽﾃﾝﾚｽ製とする。 (5) 多湿箇所の指定は「20.保温」の当該項目による。 (6) ﾌﾟｰﾙ機械室内の吊り及び支持金物、形鋼振れ止め類は溶融亜鉛ﾒｯｷ製+塗装とする。 (7) 施設利用者及び維持管理者が手に触れることができる金物等の端部には、危険防止措置としてｺﾞﾑｷｬｯﾌﾟ等を取り付けること。 (8) 建物に掛かる土間配管はｽﾗﾌﾞより支持を行い、支持金物はｽﾃﾝﾚｽ製とする。
	● 27. はつり	既設のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる。 ●穴開けを行う際は、（○ﾚｰﾀﾞｰ　●X線）探査を行う。
	● 28. 配管設備の設置及び構造	建築基準法施行令第129条の2の4による。 給水管、配電管その他の管が準耐火構造の防火区画を貫通する場合は令112条第20項による。換気、暖房又は冷房の設備の風道が準耐火構造の防火区画を貫通する場合は令112条第21項による。

章	項目	特記事項
	● 29. 保温	標準仕様書第２編3章1節によるほか次による。 管種／適用／施工箇所／外装材／保温材 給水管 補給水管／○／屋内露出（一般居室、廊下）／合成樹脂ｶﾊﾞｰ／○ GW ／○／機械室、書庫、倉庫／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+きっ甲金網／○ RW ／○／天井内、PS内、空隙壁中／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ PF ／○／暗渠内（ﾋﾟｯﾄ内を含む）／着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／PF ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／PF 排水管 ﾄﾞﾚﾝ管／○／屋内露出（一般居室、廊下）／合成樹脂ｶﾊﾞｰ／● GW ／○／機械室、書庫、倉庫／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+きっ甲金網／○ RW ／●／天井内、PS内、空隙壁中／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ PF ／○／多湿箇所（屋外天井内を除く）／ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）／PF 給湯管／○／屋内露出（一般居室、廊下）／合成樹脂ｶﾊﾞｰ／ ／○／機械室、書庫、倉庫／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+きっ甲金網／ ／○／天井内、PS内、空隙壁中／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ GW ／○／暗渠内（ﾋﾟｯﾄ内を含む）／着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ RW ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／ 消火管／○／屋内露出（一般居室、廊下）／合成樹脂ｶﾊﾞｰ／GW ／○／屋外露出／○ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／PF 冷温水管 膨張管／○／屋内露出（一般居室、廊下）／合成樹脂ｶﾊﾞｰ／○ GW ／○／機械室、書庫、倉庫／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+きっ甲金網／○ RW ／○／天井内、PS内、空隙壁中／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ PF ／○／暗渠内（ﾋﾟｯﾄ内を含む）／着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／PF ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／PF 温水管／○／屋内露出（一般居室、廊下）／合成樹脂ｶﾊﾞｰ／ ／○／機械室、書庫、倉庫／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+きっ甲金網／ ／○／天井内、PS内、空隙壁中／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ GW ／○／暗渠内（ﾋﾟｯﾄ内を含む）／着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ RW ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／ 冷温水ﾀﾝｸ 冷温水ﾍｯﾀﾞｰ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／PF ／○／上記以外／ｶﾗｰ亜鉛鉄板／○ GW ○ RW ○ PF 温水ﾀﾝｸ 熱交換器 膨張ﾀﾝｸ 温水ﾍｯﾀﾞｰ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／○ GW ○ RW ／○／上記以外／ｶﾗｰ亜鉛鉄板／○ GW ○ RW 長方形ﾀﾞｸﾄ スﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ／○／屋内露出（一般居室、廊下）／ｶﾗｰ亜鉛鉄板／ ／○／機械室、書庫、倉庫／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+きっ甲金網／ ／○／屋内隠ぺい、DS内／ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ GW ／○／屋外露出、多湿箇所／○ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ○ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（2B仕上）○溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板／○ RW ｻﾌﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰ／○／消音内貼／ｶﾞﾗｽｸﾛｽ+銅きっ甲金網／○ GW ｶﾞﾗｽｸﾛｽ+ｱﾙﾐﾆﾊﾆｶﾝｸﾞﾒﾀﾙ／○ RW 消音ﾁｬﾝﾊﾞｰ 消音ｴﾙﾎﾞ／○／消音内貼／ｶﾞﾗｽｸﾛｽ／○ GW ○ RW ○多湿箇所は次による： ●冷媒管（冷媒用断熱材被覆銅管）の外装施工は要領図による。 ○外気取入れ用ﾀﾞｸﾄ：全範囲 ○排気用ﾀﾞｸﾄ：外壁より1m以内の範囲
	○ 30. 塗装	○保温無し屋内外露出の金属配管及び金属ﾀﾞｸﾄ、金属電線管は塗装を行う。
	● 31. 文字標識等	機器、配管、ﾀﾞｸﾄ、弁類等には、機器番号や系統、配管用途、弁開閉等の情報を示す文字標識等を設ける。
	○ 32. 工事区分	図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。
	○ 33. 電線類	（1）電線及びｹｰﾌﾞﾙの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 （2）電線及びｹｰﾌﾞﾙは、EM電線及びEMｹｰﾌﾞﾙを使用する。（機器、盤類を除いてもよい）
	○ 34. 上水道取出工事	○本工事　○別途工事
	○ 35. 下水道取出工事	○本工事　○別途工事
	○ 36. 埋設配管の位置	屋外埋設給水管は、位置把握のため基準点からのｵﾌｾｯﾄを記録し、完成時に提出すること。
●その他		● 解体及び解体材の処分にあたっては「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に準じ、分別解体により収集・運搬・最終処分等、担当者責任別に受託契約書を締結すること。 ● 廃棄物の分別は現場にて行うことを原則とし、現場より直接最終処分または再生施設へ搬出するよう努めること。 ● 入れに際し現場調査を必要とする場合は事前に、契約管財課契約ｸﾞﾙｰﾌﾟへ連絡すること。 ● 本工事の下請業務及び建設資材等の購入において、市内業者を活用することに努めること。 ● 受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第７条の３の規定による。 ● 受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。（法定外の労災保険の付保） ● 再生資源利用(促進)計画書(現場掲示様式)を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をｲﾝﾀｰﾈｯﾄに公表するように努めること。 ○ 工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。(受注者及び下請け含む) ● 請負契約の締結日から資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの期間、及び機器等の工場制作のみが行われている期間は、現場代理人の常駐及び主任技術者または監理技術者の現場工事への専任は要しない。 ● 本工事はﾜﾝﾃﾞｰﾚｽﾎﾟﾝｽ実施対象工事とする。実施に当たっては「大垣市ﾜﾝﾃﾞｰﾚｽﾎﾟﾝｽ実施要領」に基づく。

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和8年	（ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事	特記仕様書（１）	MA01/06

●空気調和設備

○ 1. 設計用温湿度

	外気		屋内（調整目標）					
			一般系統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏　期	37.0 ℃	%	26.0 ℃	50 %	℃	%	℃	%
冬　期	0.4 ℃	%	22.0 ℃	40 %	℃	%	℃	%

● 2. 機械基礎(架台)

基礎仕様：　○ｺﾝｸﾘｰﾄ製既製品　●ｺﾝｸﾘｰﾄ製　(○本工事　●建築工事　○既設再利用)
架台仕様：　○既製架台　（ ○壁掛用　○天吊用　○床置用 ）　○防振架台
　　（ ○ｽﾃﾝﾚｽ製　○溶融亜鉛めっき ）
　　○製作架台（○本工事　○建築工事　○既設再利用）

○ 3. 鋼板製煙道

○伸縮継手　○掃除口　○ばいじん量測定口（直径80mm 以上）　○ばい煙濃度計取付座

○ 4. ﾀﾞｸﾄ

○低圧ﾀﾞｸﾄ　　○長方形ﾀﾞｸﾄ
　　○ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
　　○ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法
　　○円形ﾀﾞｸﾄ
　　○ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ
　　○ｸﾞﾗｽｳｰﾙ製ﾀﾞｸﾄ
○高圧ﾀﾞｸﾄ（範囲は図示による）

○ 5. ﾁｬﾝﾊﾞｰ

（1）消音内貼を施すﾁｬﾝﾊﾞｰの表示寸法は外法を示す。
（2）空気調和機に取り付けるｻﾌﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰ、ﾚﾝｶﾁｬﾝﾊﾞｰ及びﾀﾞｸﾄ系で消音内貼したﾁｬﾝﾊﾞｰには点検口を設置し、寸法は図示による。
（3）外壁に面するｶﾞﾗﾘに直接取り付けるﾁｬﾝﾊﾞｰ及びﾎｯﾊﾞｰは雨水の滞留のないよう施工する。

○ 6. ﾀﾞﾝﾊﾟｰ

○風量調整ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(VD)　　○防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(FD)　　○逆流防止ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(CD)
○防煙ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(SD)　　○防火防煙ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(SFD)

○ 7. 風量測定口

取付位置は図示による。

● 8. 配管材料

（1）冷温水管
○配管用炭素鋼鋼管（白）
○空調配管用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（SUS 304）
　継手仕様（○ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ　○拡管式）
○架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（25A以下）
○金属強化ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（50A以下）

（2）冷却水管
○配管用炭素鋼鋼管（白）
○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（SUS 304）
　継手仕様（○ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ　○拡管式）
○空調配管用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
○配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管（溶接管）（SUS 304 TP-A）

（3）空調用排水管
○配管用炭素鋼鋼管（白）

（4）冷媒管
●冷媒用断熱材被覆銅管（難燃性）

（5）ﾄﾞﾚﾝ用排水管
●硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管
○排水・通気用耐火二層管(内管:VP)
○耐候性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ｶﾗｰVP）
○結露防止層付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
●高耐候性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(屋外露出、呼び径25以下)

（6）加湿用給水管、補給水用給水管
○水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VB）
○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（SUS 304）
　継手仕様（○ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ　○拡管式）

（7）蒸気給気管
○配管用炭素鋼鋼管（黒）
○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40

（8）蒸気還管
○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40
○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（SUS 304）

（9）高温水管
○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40
○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch80

（10）油管
○配管用炭素鋼鋼管（黒）

（11）膨張管、空気抜き管及び膨張ﾀﾝｸよりﾎﾞｲﾗｰ等への補給水管
○配管用炭素鋼鋼管（白）
○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（SUS 304）
　継手仕様（○ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ　○拡管式）

○ 9. 弁類

（1）冷温水ｺｲﾙ廻りの弁はﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁とし、蒸気加熱ｺｲﾙ廻りの弁は仕切弁とする。
（2）ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄと冷温水管の接続部（往・還）には、ﾎﾞｰﾙ弁を取付ける。
（3）ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄには、（○流量調整弁　○定流量弁）を設置する。
（4）炭素鋼鋼管（白）を採用する場合は、錆鉄製弁とする。(ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁を除く)
（5）補給水管以外に一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管を採用する場合は、ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁とする。
（6）補給水管に一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管を採用する場合は、青銅弁とする。

○ 10. 一般用弁

給水用青銅弁は、管端防食ｺｱ内蔵（ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管の場合を除く）、鉛ﾚｽとする。
（1）呼び径50以下
○仕切弁(GV)：○青銅製　○ねずみ鋳鉄製　○ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○玉形弁(SV)：○青銅製　○ねずみ鋳鉄製　○ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○逆止弁(CV)：○青銅製　○ねずみ鋳鉄製　○ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○衝撃吸収式逆止弁(CV)：○青銅製　○ねずみ鋳鉄製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○ﾎﾞｰﾙ弁(BAV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製

（2）呼び径65以上
○仕切弁(GV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製
○玉形弁(SV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製
○逆止弁(CV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製
○衝撃吸収式逆止弁(CV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製

（3）呼び径50以上
○ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(BV)：○ｱﾙﾐ製ｷﾞｱ式　○ｽﾃﾝﾚｽ製
　ｺﾞﾑｼｰﾄ材質：○EPDM　○耐塩素EPDM　○FKM

○ 11. 特殊用弁

○減圧弁：呼び径100以下は（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）
　　呼び径125以上は（○青銅製　○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ））

○自動ｴｱ抜き弁：弁体は（○青銅製　○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製）
　　ﾌﾛｰﾄは（○合成樹脂製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）

○電動弁：呼び径50以下は（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）ねじ込み形ﾎﾞｰﾙ弁
　　呼び径65以上は（○ｱﾙﾐ製　○ねずみ鋳鉄製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）ﾌﾗﾝｼﾞ形ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁

○電磁弁：（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）DC24V通電時開、防滴形

○ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ：要部は(○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製)、
　　ﾎﾞｰﾙは（○樹脂製：呼び径25以下　○銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）、機構は複式とする。

○ 12. 継手類

○ﾌﾚｷｼﾝｸﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ(FXJ)：○ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　○合成ｺﾞﾑ製
○防振継手(FJ)：○3山ﾍﾞﾛｰｽﾞ形ﾌｯ素樹脂製　○合成ｺﾞﾑ製
○銅管用伸縮管継手：○ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　○ｽﾘｰﾌﾞ形

○ 13. 温度計・圧力計

下記の表に●をつけた箇所に設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。

機材名	計測部位	温度計		圧力計		計測器の種類
		入口側	出口側	入口側	出口側	
冷温水機	冷温水	○	○	○	○	円形指示計
冷凍機	冷却水	○	○	○	○	
ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機	ｻﾌﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰ ﾚﾝｶﾁｬﾝﾊﾞｰ	○	○	－	－	
ﾕﾆｯﾄ形空気調和機	冷温水	○	○	○	○	
	ｻﾌﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰ ﾚﾝｶﾁｬﾝﾊﾞｰ	○	○	－	－	
熱交換器	－	○	○	○	○	
ﾍｯﾀﾞｰ	－	○	○	○	○	

○ 14. 瞬間流量計

ﾋﾞﾄｰ管方式によるもので、止水ｺｯｸ付とし、取付位置は図示による。
形式は、（○固定式　○着脱式）とする。
着脱式の場合、（　　）を付属する。

○ 15. 油面制御装置

（1）制御盤には（○給油ﾎﾟﾝﾌﾟ制御　○返油ﾎﾟﾝﾌﾟ制御　○漏えい検知警報　○満油警報
　○減油警報　○遠隔警報　○電磁弁制御）の端子を設ける。
（2）ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ部と制御盤間の配管記線は製造者の標準仕様とする。
（3）ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ部はｽﾃﾝﾚｽ鋼製（液面検出部）とする。

○換気設備

○ 1. ﾀﾞｸﾄ

○低圧ﾀﾞｸﾄ　　○長方形ﾀﾞｸﾄ
　　○ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法（厨房排気以外で、長辺の長さが1,500mm以下の部分）
　　○ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法
　　○円形ﾀﾞｸﾄ
　　○ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ
　　○ｸﾞﾗｽｳｰﾙ製ﾀﾞｸﾄ
○高圧ﾀﾞｸﾄ（範囲は図示による）
○ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞｸﾄ及び硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾀﾞｸﾄ（範囲及び仕様は図示による）
○厨房用排気ﾀﾞｸﾄは、標準仕様書第3編2.2.2.2の項より1ﾗﾝｸ厚いものを使用する。

○ 2. 風量測定口

取付位置は図示による。

○ 3. ﾀﾞﾝﾊﾟｰ

○風量調整ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(VD)　　○防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(FD)　　○逆流防止ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(CD)
○防煙ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(SD)　　○防火防煙ﾀﾞﾝﾊﾟｰ(SFD)

○ 4. 排気ﾀﾞｸﾄのｼｰﾙ

○厨房系統　　○浴室系統（ｼｬﾜｰ室、脱衣室を含む）

○ 5. ﾁｬﾝﾊﾞｰ

空気調和設備の当該項目による。

○ 6. ﾌｰﾄﾞ

給気ﾌｰﾄﾞはｶﾞﾗﾘ、排気ﾌｰﾄﾞは防虫網付(10ﾒｯｼｭ)とし、防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ付は図示による。
○深形ﾌｰﾄﾞ、○丸形ﾌｰﾄﾞ、○ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ：○ｽﾃﾝﾚｽ製　○ｱﾙﾐ製
○指定色焼付塗装とする。

○ 7. ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞｸﾄ

ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾀﾞｸﾄに関する材料及び施工法は次による。
（1）ﾀﾞｸﾄ用材料　JIS G 4305(冷間圧延ｽﾃﾝﾚｽ鋼板)及び、JIS G 4307(冷間圧延ｽﾃﾝﾚｽ鋼帯)によるSUS430で、JISﾏｰｸ表示品とする。表面仕上げはNo. 2Bとする。
（2）鋼材　山形鋼　JIS G 4317(冷間圧延ｽﾃﾝﾚｽ鋼等辺山形鋼)によるSUS304とする。
　棒　鋼　JIS G 4303(ｽﾃﾝﾚｽ棒鋼)によるSUS304とする。
　ﾘﾍﾞｯﾄ　JIS G 1213(冷間成形ﾘﾍﾞｯﾄ)に準ずるｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)製とする。
　ﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄ　JIS G 1180(六角ﾎﾞﾙﾄ)及び、JIS G 1181(六角ﾅｯﾄ)に準ずるｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)製とする。
　ﾌﾗﾝｼﾞ用ﾊﾟｯｷﾝ　石綿系以外のもので自己消燃性及び気密性を有するものとする。
　なお、厚さは 3mm 以上とする。
（3）ﾀﾞｸﾄ付属品　次による他は垂鉛鉄板製風道の風道付属品当該事項による。
　制気口　ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形吹出口の取付枠、可動羽根及び背部のｼｬｯﾀｰはｽﾃﾝﾚｽ鋼板製とし取付枠の板厚は0. 8mm 以上とする。
　吸込口の取付枠、ｼｬｯﾀｰ及び、ｽﾘｯﾄﾞはｽﾃﾝﾚｽ鋼板製とする。なお、ｼｬｯﾀｰの板厚は0. 6mm 以上とする。
　風量調整ﾀﾞﾝﾊﾟｰ　ｹｰｼﾝｸﾞ及び、可動羽根は板厚1. 0mm 以上のｽﾃﾝﾚｽ鋼板製、ﾀﾞﾝﾊﾟｰ軸はｽﾃﾝﾚｽ鋼棒製軸受けは青銅、黄銅、又はｽﾃﾝﾚｽ鋼製、開閉表示器及び、調整ﾊﾝﾄﾞﾙはｽﾃﾝﾚｽ鋼製及び、ｽﾃﾝﾚｽ鋼棒製とする。
　風量測定口　ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金または亜鉛合金製とする。
（4）ﾀﾞｸﾄの製作及び取付　亜鉛鉄板製風道の一般事項による。
（5）ﾀﾞｸﾄの板厚　SHASE-S 010-2013 空気調和・衛生設備工事標準仕様書の当該事項による。
（6）ﾀﾞｸﾄの接続　SHASE-S 010-2013 空気調和・衛生設備工事標準仕様書の当該事項による。
（7）ﾀﾞｸﾄの補強　SHASE-S 010-2013 空気調和・衛生設備工事標準仕様書の当該事項による。
（8）ﾀﾞｸﾄの支持　SHASE-S 010-2013 空気調和・衛生設備工事標準仕様書の当該事項による。

○排煙設備

○ 1. ﾀﾞｸﾄ

○ 亜鉛鉄板　　○ 普通鉄板（1. 6mm以上）

○ 2. 排煙口の形式

○天井取付（○ｽﾘｯﾄ形　○ﾊﾞﾈﾙ形）
○壁取付（○ｽﾘｯﾄ形　○ﾊﾞﾈﾙ形　）

○ 3. 排煙口開放及び復帰方式

○ ﾜｲﾔｰ式　　○ 電気式（遠隔復帰　○ 要　○不要）

○ 4. 排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書　平成20年度版（（一財）日本建築設備・昇降機ｾﾝﾀｰ）の排煙風量の検査方法に準じる。

●自動制御設備

○ 1. 中央監視制御装置

○新設　○既設

○ 2. 中央監視制御装置の構成・機能

ｼｽﾃﾑ構成及び機能は、別図による。

● 3. 電気計装用配線

（1）屋外電線は、図面に特記のない限り金属電線管とする。
（2）壁内隠ぺい部の配管は、図面に特記のない限りPFとする。
（3）屋内露出電線は、図面に特記のない限りﾒﾀﾙﾓｰﾙにて保護する。
（4）天井からの引出配線及び梁巻部はﾒﾀﾙﾓｰﾙとし、引出部はｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ等で保護する。
（5）天井内隠ぺい部の配線は、図面に特記のない限りｹｰﾌﾞﾙ配線とする。

○衛生器具設備

○ 1. 水栓

節水ｺﾏ式とし、水抜栓を使用する場合は固定ｺﾏ式とする。
図面に特記のないものは、次による。
○屋外用水栓には、凍結防止ｿｹｯﾄを設ける。
○流し用水栓は、泡沫式とする。

○ 2. 自動水栓の電源供給方式

○AC100V　　○自己発電　　○乾電池

○給水設備

○ 1. 配管材料

（1）給水引込管（本管～量水器）　大垣市水道課の指定による（○HPPE　○DIP）

（2）地中埋設配管
○水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管（②層）
○水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（HIVP）
○水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
　給水用高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（HPPE）

（3）一般配管
○水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VB）
○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管（SUS 304 TPD）
　継手仕様（○ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ　○拡管式）
○配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(溶接管)（SUS 304 TP-A）
○配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（HPPE）
　給水用高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（HPPE）
○架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（25A以下）

（4）鋼管接続（ﾌﾗﾝｼﾞと管との取付方法）　呼び径80以下：ねじ接続（ねじ接合）
　呼び径100：ﾌﾗﾝｼﾞ接続（ねじ接合）
　呼び径125以上：ﾌﾗﾝｼﾞ接続（溶接接合）

○ 2. 量水器

○公設ﾒｰﾀｰ（貸与品）　　○私設ﾒｰﾀｰ（買取品）
量水器（BOX共）、ﾊﾞｲﾊﾟｽﾕﾆｯﾄ、ﾎﾞｰﾙﾊｯﾄ弁等の仕様は、大垣市水道課指定品とする。
量水器ﾎﾞｯｸｽは、小窓付とする。

○ 3. 一般用弁

給水用青銅弁は、管端防食ｺｱ内蔵（ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管の場合を除く）、鉛ﾚｽとする。
（1）呼び径50以下
○仕切弁(GV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○埋設用仕切弁(GV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○玉形弁(SV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○逆止弁(CV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○衝撃吸収式逆止弁(CV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製
○ﾎﾞｰﾙ弁(BAV)：○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製

（2）呼び径65以上
○仕切弁(GV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製
○玉形弁(SV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製
○逆止弁(CV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製
○衝撃吸収式逆止弁(CV)：○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製

（3）呼び径50以上
○埋設用仕切弁(GV)：○ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁
○ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(BV)：○ｱﾙﾐ製ｷﾞｱ式　○ｽﾃﾝﾚｽ製
　ｺﾞﾑｼｰﾄ材質：○EPDM　○耐塩素EPDM　○FKM

○ 4. 特殊用弁

○減圧弁：呼び径100以下は（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）
　　呼び径125以上は（○青銅製　○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ））

○自動ｴｱ抜き弁：弁体は（○青銅製　○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製）
　　ﾌﾛｰﾄは（○合成樹脂製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）

○電動弁：呼び径50以下は（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）ねじ込み形ﾎﾞｰﾙ弁
　　呼び径65以上は（○ｱﾙﾐ製　○ねずみ鋳鉄製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）ﾌﾗﾝｼﾞ形ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁

○電磁弁：（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）DC24V通電時開、防滴形

○ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ：要部は（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）、
　　ﾎﾞｰﾙは（○樹脂製：呼び径25以下　○銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）、機構は複式とする。

○定水位調整弁：青銅製

○Y形ｽﾄﾚｰﾅ(YST)：呼び径50以下は（○青銅弁　○ｽﾃﾝﾚｽ製）
　　呼び径65以上は（○ねずみ鋳鉄製（○ﾅｲﾛﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ）○ｽﾃﾝﾚｽ製）

○ 5. 継手類

○ﾌﾚｷｼﾝｸﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ(FXJ)：○ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　○合成ｺﾞﾑ製
○防振継手(FJ)：○ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　○合成ｺﾞﾑ製
○銅管用伸縮管継手：○ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　○ｽﾘｰﾌﾞ形

○ 6. 管の埋設深さ

車両道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。

○排水設備

○ 1. 配管材料

（1）屋内（汚水管、雑排水管、通気管、雨水管）
　埋設：○硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）
　一般：○硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）　○排水・通気用耐火二層管(FDPD)

（2）屋外（汚水管、雑排水管、通気管、雨水管）
　埋設：○硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）
　屋外露出　呼び径25以下：○高耐候性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管
　　呼び径40以上：○耐候性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ｶﾗｰVP）

○ 2. 排水金具

○ｽﾃﾝﾚｽ製　○塩ﾋﾞ床シートに据付ける場合は専用品またはﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟとする。
表面は非鏡面仕上げとする。

○給湯設備

○ 1. 配管材料

○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管（SUS 304 TPD）　継手仕様（○ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ　○拡管式）
○水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-HVA）
○架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（ｻﾔ管共）

○ 2. 弁類

一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁とする。ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁のｺﾞﾑｼｰﾄ材質はFKMとする。

○ 3. 特殊用弁

○自動ｴｱ抜き弁(ﾁｭｰﾌﾞ継手付)：弁体は（○青銅製　○ｽﾃﾝﾚｽ鋼製）
　　ﾌﾛｰﾄは（○合成樹脂製　○ｽﾃﾝﾚｽ製）

○消火設備

○ 1. 配管材料

（1）屋内消火栓
　埋設：○消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管（SGP-VS）
　　○消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管（STPG 370 VS 白 Sch 40）
　　○消火設備配管用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
　　○消火設備高圧配管用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
　一般：○配管用炭素鋼鋼管（白）
　　○圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG 370 白 Sch 40）
（2）連結送水管
　埋設：○消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管（SGP-VS）
　　○消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管（STPG 370 VS 白 Sch 40）
　一般：○配管用炭素鋼鋼管（白）
　　○圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG 370 白 Sch 40）

○ 2. 屋内消火栓種別

○ 易操作性１号消火栓　○広範囲型２号消火栓　○１号消火栓　○２号消火栓

○ 3. 消火栓箱

○消火器箱内蔵　　材質（○ｽﾃﾝﾚｽ製　○鋼板製）

○ 4. 屋内消火栓開閉弁

JIS又はJV10Kとする。

○厨房設備

○ 1. 機器の寸法

概略寸法とする。

○ 2. 機器の機能等

図示による。

●ガス設備

● 1. ｶﾞｽ種別

●都市ｶﾞｽ（供給者名：大垣ｶﾞｽ（株）　発熱量：45MJ/m³）
○液化石油ｶﾞｽ

● 2. 配管材料

（1）都市ｶﾞｽ　　ｶﾞｽ事業者の規定に合格又は使用を承認したものとする。

（2）液化石油ｶﾞｽ
　埋設：○ｶﾞｽ用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
　　○硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管(内管：白管)
　一般：○配管用炭素鋼鋼管（白）
　　○硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管(内管：白管)
　天井内：○配管用炭素鋼鋼管（白）

○ 3. 充填容器

○供給業者の支給品（○50kg x　本　　○ﾊﾞﾙｸ容器 980m³ x　基）
○本工事での購入品（○50kg x　本　　○ﾊﾞﾙｸ容器 980m³ x　基）

○ 4. 集合装置

標準図（液化石油ｶﾞｽ容器廻り配管要領）による　　本組。

○ 5. 転倒防止等

標準図（液化石油ｶﾞｽ容器転倒防止施工要領）のによる。

● 6. ﾒｰﾀｰ

公設ﾒｰﾀｰ（●貸与品）　私設ﾒｰﾀｰ（○買取品）

○ 7. ｶﾞｽ漏れ警報器

○別途工事　○本工事（取付位置は図示による）

○ 8. 引込負担金等

負担金等（○有　○無）　　支払い方法（○受注者支払　○発注者支払）

○さく井設備

○ 1. 掘さく工法

○ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ式　○ﾛｰﾀﾘｰ式　○ﾀﾞﾝｸﾞﾎｰﾙﾊﾝﾏ式

○ 2. ｹｰｼﾝｸﾞ材料

○硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）○一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管（SUS 304 TPD）○配管用炭素鋼鋼管（黒）

○ 3. ｽｸﾘｰﾝ位置

図示による。

○ 4. 揚水試験

標準仕様書第7編2. 2. 1によるほか、図示による。

○ 5. 水質試験

標準仕様書第7編2. 2. 2による。（51項目）

○ 6. 報告書

総合柱状図、揚水試験成績表、水質試験成績表、工事写真

○浄化槽設備

○ 1. 型式

○現場施工型（合併処理）　○ﾕﾆｯﾄ型（○小規模合併処理　○合併処理）

○ 2. 処理方式

○分離接触ばっ気方式　　○嫌気濾床接触ばっ気方式
○脱窒濾床ばっ気方式　　○回転板接触方式
○接触ばっ気方式　　○長時間ばっ気方式
○接触ばっ気・ろ過方式　　○凝集分離方式
○接触ばっ気・活性炭吸着方式　　○凝集分離・活性炭吸着方式
○硝化液循環活性汚泥方式　　○三次処理脱窒・脱燐方式

○特殊設備

○ 1. 保証期間

大垣市工事請負契約約款57条（契約不適合責任期間等）によらず、製造者保証期間による。

○ 2. 施工

専門業者による責任施工とする。

○ 3. 試運転調整

専門業者による調整とし、初期運転状態を記録する。

○ 4. 適用法令

下記法令に適合した施工を行う。
○労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令
○有機溶剤中毒予防規則
○特定化学物質障害予防規則

○撤去工事

○ 1. 支持金物等

撤去するﾀﾞｸﾄ及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。

○ 2. 改修工事

改修工事に伴い不要となる既設機器、配管、配線、弁類及び保温材等の撤去・処分を行うこと。配管、配線及びﾀﾞｸﾄ類の末端処理（ﾌﾞﾗﾝｸﾞ、ｷｬｯﾌﾟ、相ﾌﾗﾝｼﾞ止め）を行い、撤去後の不要貫通孔の穴埋補修及び既設壁、床等の補修をすること。（既設合わせ）

設計監理
大垣市都市計画部建築課
ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL

設計年度
令和8年

工事名称
（ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事

図名
特記仕様書（２）

図番
MA02/06

提　出　書　類　一　覧　表

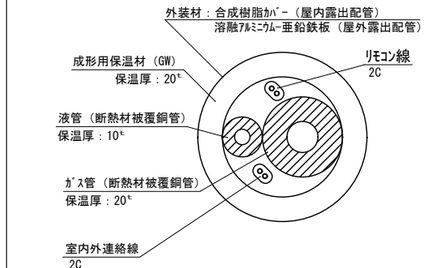
R08.4～			項　目	部数
契約書類	着工時		*着工届	1
			*現場代理人届 ※直接的な雇用関係の分かる書類を添付	1
			*(専任)主任技術者届、監理技術者補佐届、(専任・特例)監理技術者届 ※(専任)主任技術者届、監理技術者補佐届は、資格要件の分かる書類を添付（経歴書または資格証の写し） ※(専任・特例)監理技術者届は、監理技術者有資格者証の写しを添付 ※各届出書に3ヶ月雇用のわかる書類を添付	1
			*工程表 ※契約後10日以内	1
	完成時		*完成届	1
			*出来形届書 ※支払いがある場合	1
			*請求書	1
			完成写真 ※着工前と完成を対比、ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾞｰﾊﾟｰ付(完成写真の方に色付け、撤去部分：青、新設部分：赤)	1
完成成果品書類	赤ファイル	1	完成図	1
		2	完成施工図	1
		3	機器完成図	1
		4	官公署への届出書類、検査済証	1
		5	保全に関する説明書、保証書 ※保証書は期間が1年以上のみ(開始日は完成検査合格日)	1
	灰ファイル(補助工事は青ファイル)	1	完成写真 ※着工前・完成状況、ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾞｰﾊﾟｰなし	1
		2	工事写真 ・工種別写真(着工前・施工中・完成状況) ・安全管理状況写真 ・標識・掲示写真(全体及び拡大/建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、下請負人に対する通知、建退共制度事業主の現場標識、緊急時連絡票、作業主任者選任表示板、建基法による確認表示板、解体工事業者登録票、石綿事前調査結果、石綿使用した建築物の解体工事のお知らせ、再生資源利用促進計画書、工事表示板(W900×H1200))	1
		3	工程表 ・全体工程表、月間工程表、週間工程表(休日、夜間作業届を兼ねる)	1
		4	施工計画書 ・総合施工計画書、工種別施工計画書(施工要領書)	2
		5	施工体制台帳関係書類 ・施工体制台帳(県第18号様式)、施工体系図(県第19号様式)、作業員名簿(県第18-2号様式)、主任(監理)技術者の資格要件を証明する書面、雇用を証明する書面、契約書(写し)	2
		6	産業廃棄物関係書類 ・産業廃棄物処理委託契約書(写し)、処理業者(収集・運搬・処分)の許可証(写し)、(中間処理・最終)処分場までの運搬経路図及び写真、産業廃棄物管理票(ﾏﾆﾌｪｽﾄE票、提示のみ) ・ﾌﾛﾝ回収証明書及び破壊処理証明書(該当工事がある場合) ・建設発生土残土処分関係書類(受入証明書、状況写真、運搬台数報告書)(該当工事がある場合)	1
		7	再生資源関係書類(CORRIS) ※請負金額100万円以上 ・再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、再生資源利用実施書(提示のみ)、再生資源利用促進実施書(提示のみ)	1
		8	出来形管理 ・月毎の工事履行報告書(出来形率、工程表、写真)※補助工事または工期6ヶ月超の工事	1
		9	品質管理 ・機器試験成績書 ・工種別の品質管理資料(施工ﾁｪｯｸｼｰﾄ、配管・ﾀﾞｸﾄ支持間隔、勾配等) ・試験結果報告書(通水・満水・水圧・気密・引張・ｺﾝｸﾘｰﾄ強度試験、空調温度・騒音振動測定等)	1
		10	使用機器材料・施工図 ・承諾図 ・材料資料(JIS規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ配合計画書、大臣認定書等)	2
		11	出荷関係書類 ・出荷証明書、納品書、ﾐﾙｼｰﾄ等	1
		12	打合せ記録 ・打合せ記録簿 ・設計図書の疑義による協議書・指示書	2
		13	安全管理・安全教育関係書類 ・道路使用許可等の関係機関の許可書の写し ・使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録簿(提示のみ) ・安全教育実施報告書、安全巡視、TBM、KY等の実施記録、新規入場者教育の実施書(提示のみ)	1
		14	建設業退職金共済制度関係書類 ・建設業退職金共済制度掛金収納書、建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表(提示のみ)	1
		15	工事保険関係書類 ・組立保険・請負業者賠償責任保険・法定外の労災保険証書の写し(加入期間：工事着工～工事完成期日後14日) ※加入期間：工事着工～工事完成期日後14日、保険の範囲が分かる約款、ｶﾀﾛｸﾞ等も添付	2
		16	工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書	1
		17	各種法令等関係書類 ・解体工事等に係る調査結果説明書(大気汚染防止法第18条の15第1項) ・特定粉じん排出等作業結果報告書(大気汚染防止法第18条の23第1項) ・休日取得計画工程表、休日取得実施書、週休2日制工事（現場閉所）報告書（大垣市発注の週休2日制工事要領第4条）	1
		18	その他 ・監督員通知書 ・工事検査報告書(社内検査、建築課検査) ・上述No.1～17以外の工事書類(提出書、報告書等)	1

(1)上表の部数が2となっている書類は、市指定の表紙(*指示・承諾・協議・提出・報告書)(正/副)を付して提出し、決裁された1部(正)を完成成果品の該当項目に綴じ込むこと。
(2)完成成果品書類の電子ﾃﾞｰﾀは、完成時にまとめてCD又はDVD(本体共)にて提出すること。
※CD・DVDは、完成成果品書類の赤ﾌｧｲﾙに、2穴付き不織布ｹｰｽ（ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲ FCD-FRBD50W）で同梱すること。
※最新のﾊﾞｰｼﾞｮﾝﾌｧｲﾙを適用したｳｲﾙｽｿﾌﾄでｽｷｬﾝしたものに限る。
(3)完成成果品書類は、背幅伸縮ﾌｧｲﾙ(ｺｸﾖ ﾌｰV90 ｻｲｽﾞ：A4-S)に上表の赤ﾌｧｲﾙ、青(灰)ﾌｧｲﾙ別に綴り、市指定の表紙を貼ること。
(4)監督員が指示した場合は、市指定のﾌﾟﾗｽﾁｯｸｹｰｽに収納して提出すること。
(5)★印の書類は、https://www.city.ogaki.lg.jp/0000007329.htmlに掲載。
(6)完成時に、実施工程表(ﾏｽﾀｰ)、市指定の機械設備台帳(本工事にて設置した機器に限る)のﾃﾞｰﾀを提出すること。
~~(7)着工時に、設計図A4製本(A3-2ﾂ折 ﾓﾉｸﾛ、入札前の質疑応答書共)を7部提出すること。~~
~~(8)完成時に、完成図(設計図修正及び施工図)A4製本(A3-2ﾂ折 ｶﾗｰ)を3部提出すること。~~

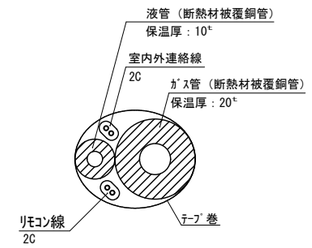
工事区分表

項　目	建築	空調	電気	備　考
内部足場（軽微なものは除く）	○	○	○	
外部足場				
外壁支持金物		○		
設備配管貫通用穴あけ		○	○	
同上の配管後開口部ふさぎ		○	○	
同上の配管廻のｼｰﾘﾝｸﾞ		○	○	
一般天井の設備機器取付用穴開				
空調設備用の一般電動機		○		
同上１次側電源工事			○	
同上２次側電源工事		○		
室内機取付用の壁又は天井の吊架台（補強含む）	○			
室内機設置用の防球ｶﾞｰﾄﾞ	○			
天井（軒天共）の解体復旧（脱着を含む）				
上記に伴う照明等機器脱着（LED化を含む）				
壁の解体復旧（脱着を含む）	○			
天井点検口	○			
設備機器設置用のｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	○			
設備機器設置用のｱﾝｶｰ用孔開及び箱入		○	○	
設備機器設置用のｱﾝｶｰ及び埋戻		○	○	
設備機器設置用のｺﾝｸﾘｰﾄ基礎の仕上	○			
ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	○			
舗装工事	○			
外構解体	○			

露出配管配線要領図(冷媒用断熱材被覆銅管)　S=FREE

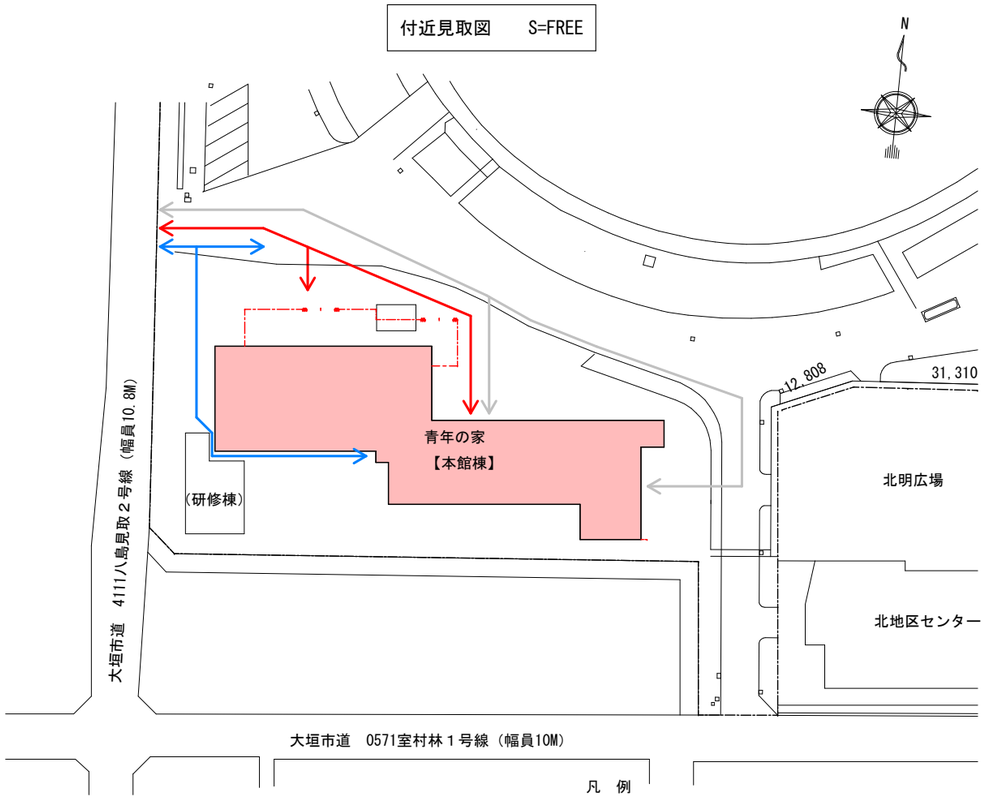


隠蔽配管配線要領図(冷媒用断熱材被覆銅管)　S=FREE





付近見取図　S=FREE



配置図兼仮設計画図　S=1/1,000

凡　例

	工事箇所
	施設利用者動線
	施設関係者動線
	工事関係者動線
—・—	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H1,800(別途建築工事)
-W-!-W-	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ H1,800 x W6,000　2箇所(別途建築工事)
その他	・工事車両の駐車ｽﾍﾟｰｽについては、場内既設駐車場が利用可能。 ※利用時はｶﾗｰｺｰﾝにて区画すること。

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和8年	（ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事	提出書類一覧表、付近見取図、配置図兼仮設計画図、工事区分表、要領図	MA03/06

新設機器表(空調設備)

記号	名称	系統名（設置場所）	形式	室外機 設置階	室外機 台数	室外機 据付方式	室外機 冷房能力 kW	室外機 暖房能力 kW	室外機 電気特性 電源 相・電圧	室外機 電気特性 出力 送風機 kW	室外機 電気特性 消費電力（冷房/暖房） kW	室外機 ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝ出力 kW	室外機 ガス消費量 冷房時 kW	室外機 ガス消費量 暖房時 kW	室内機 設置階	室内機 台数	室内機 冷房能力 kW	室内機 暖房能力 kW	室内機 電気特性 電源 相・電圧	室内機 電気特性 送風機 送風量 CMH	室内機 電気特性 送風機 機外静圧 Pa	室内機 電気特性 送風機 出力 kW	室内機 電気特性 消費電力（冷房/暖房） kW	室内機 加湿器 形式	室内機 加湿器 有効加湿量 kg/h	室内機 外気量 CMH	室内機 ﾌｨﾙﾀｰ M：中性能 L：ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌ N：標準	室内機 ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ	防振装置（室外機/室内機） G：ｺﾞﾑ S：ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ P：ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄ	起動方法	非常電源	その他付属品 個数：（）内の数字
GHP-1	ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式	講堂北系統	室外機:都市ｶﾞｽ	外部	1	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	71.0	80.0	3φ200V	0.75x2	1.77/0.75	15.7	52.4	57.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	P／－	個別	－	
	空気調和機																															
GHP-1-1		講堂	室内機:CR	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1F	4	16.0	18.0	1φ200V	1,860	－	0.129	0.16/0.16	－	－	－	N	－	－／G	個別	－	
GHP-2	ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式	講堂南系統	室外機:都市ｶﾞｽ	外部	1	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	71.0	80.0	3φ200V	0.75x2	1.77/0.75	15.7	52.4	57.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	P／－	個別	－	
	空気調和機																															
GHP-2-1		講堂	室内機:CR	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1F	4	16.0	18.0	1φ200V	1,860	－	0.129	0.16/0.16	－	－	－	N	－	－／G	個別	－	

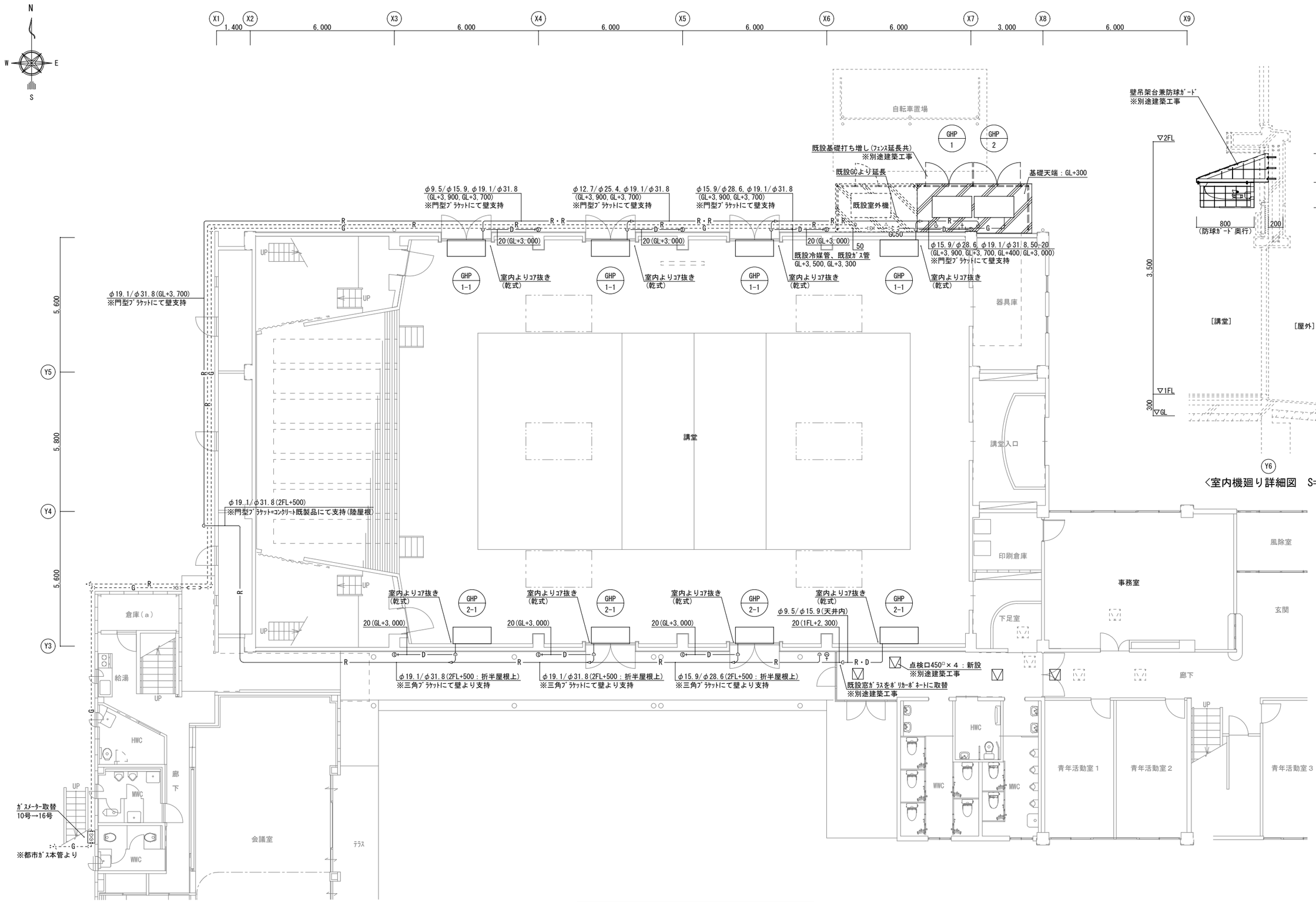
共通事項

1. 冷房能力・暖房能力はJIS標準条件能力を示す。
2. 冷暖房性能及び特性は、JIS 8616に基づいた値とする。冷房時：室内吸込空気温度27℃D.B・19℃W.B、室外吸込温度35℃D.B、暖房時（標準）：室内吸込空気温度20℃D.B、室外吸込温度7℃D.B・6℃W.B
3. 室外機ｺﾝｸﾘｰﾄ製基礎、室内機用鋼製架台兼防球ｶﾞｰﾄﾞは別途建築工事とする。
4. 冷媒はｵｿﾞﾝ層破壊係数0のものとする。
5. 室内外機の渡り配線延長は冷媒管共巻きとし、本工事とする。
6. 電動機出力、原動機出力、消費電力、送風量は参考数値とする。
7. 臭気低減機能がある場合は、有りとする。
8. 各機器には標準付属品を見込む。

新設機器表(計装設備)

記号	名称	仕様	電源 相・電圧	数量	据付場所	備考
R	個別ﾘﾓｺﾝ(空調機用)	多機能ﾘﾓｺﾝ、ﾜｲﾔｰﾄﾞ	－	2	事務室	

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和8年	（ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事	新設機器表(空調設備・計装設備)	MA04/06

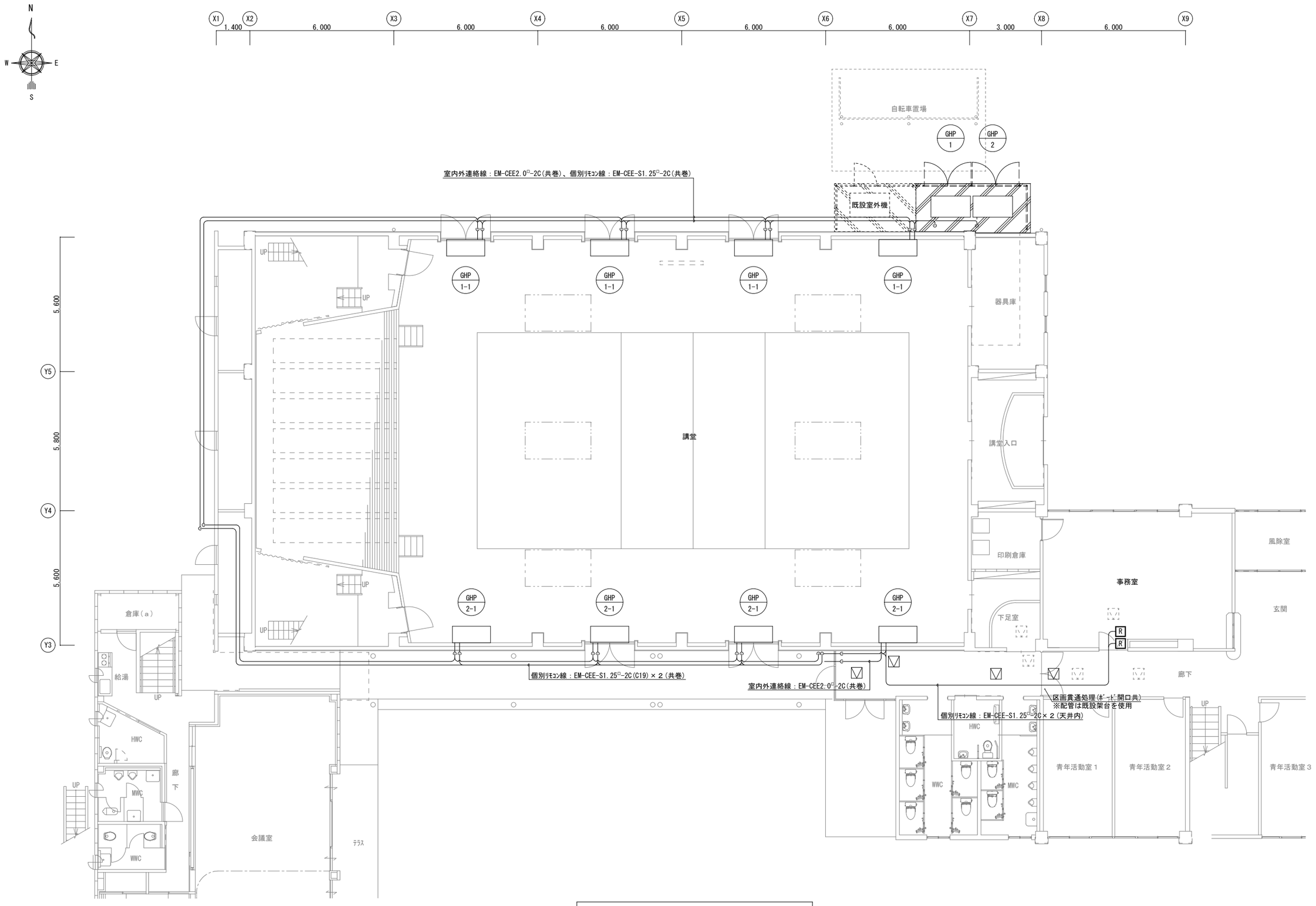


〈室内機廻り詳細図　S=1/50〉

講堂１階改修平面図（空調設備）　S=1/150

※1FL=GL+300、2FL=GL+3,800、配管等施工のため、高所作業車利用(自走式ﾘﾌﾄ、２台：60日)を見込む。
※室内機ﾄﾞﾚﾝ管は、既設雨樋を加工したﾎｯﾊﾟｰ受(ｶﾗｰ偏心ｲﾝｸﾘｰｻﾞ150×100)に間接排水する。

設計監理	設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	令和8年	（ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事	講堂１階改修平面図（空調設備）	MA05/06



講堂１階改修平面図（計装設備）　S=1/150

設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度 令和8年	工事名称 （ゼロ債務）（補）青年の家　講堂空調機設置（空調）工事	図名 講堂１階改修平面図（計装設備） 図番 MA06/06